



働くことの美德

令和7年12月19日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

働くことが唯一企業を維持するものである。そのため正しい意欲と勤労性が、企業における最大の価値を与えることができるものである。

これらは経営における自己が企業の現実を与えることにおいて理解することができるものである。

なぜならば働くことが唯一結果を生むからであり、それら基盤は正しい社員の労働意欲の育成なのである。

これらは経営における与えられる現実であるため、経営が自己を行うことにおいてそれら企業における現実を生むことができるのである。

これらは時代性や社会性における社員への要求は、社員が自己の永続を求めるとき、優れた人材における要求を企業が与えることができなければ、それら社員は自己を与えることができないのである。

これらは適時適法における企業現実の育成が唯一企業において未来を実現できることを意味するものである。

これらは経営の正しさは企業における健全な現実の育成を生むことの証明である。

これら企業の意欲と勤労性は、未来と可能性を実現できるものである。

これらは経営において与えられる現実であり、正しい経営行動がそれら企業の未来を実現できることを意味するものである。

また働くことに喜びを得ることができるならば、企業風土の健全性を有するものである。

これら現実には経営における正しい判断と方針や基準において実現できるものであり、その実現は企業において未来を行うものなのである。